

令和7年度 第3回  
大野市文化財保存活用地域計画推進協議会  
会 議 録

日 時 令和8年2月2日（月）10:00～11:00  
場 所 学びの里「めいりん」2階 洋室（大）

大野市教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課

出席者 ○委員 13名 委員（団体等）7名、市職委員6名  
（※欠席者：1名）  
○事務局5名

1 教育理念唱和  
2 会長あいさつ

これまで2回の協議会にて事務局案を基に協議がなされてきた。  
本日は、最終の確認作業となるが、ご意見等よろしく願います。

3 議 事

■地域計画改訂案の最終確認について

(1) 改訂の作業経過と改訂までの今後のスケジュールについて **資料1**

●事務局より資料1にて説明。その後、質疑応答。質疑等特になし。

(2) 改訂内容の確認

・改訂の概要について **資料2、3**

●事務局より資料2、3にて改訂の概要について説明。その後、質疑応答。  
質疑等特になし。

・令和7年12月25日送付の改訂案からの変更について **差し替え頁**

●事務局より変更点について説明。以前に配布した改訂案から該当頁の差し  
替えをお願いします。

4 その他

●委員より

委 員（福井県教育庁生涯学習・文化財課所属）

： 改訂する計画については、今後、軽微な変更ということで文化  
庁への報告となるが、事前に文化庁調査官に軽微か否かの確認を  
することになる。

文化財についての国の動向であるが、インバウンド対応等が重  
点となり、旅客税の一部を文化財の財源に回すという案が出てい  
る。補助金の枠が増えるというわけではないが、補助金交付にお

いて観光に目を向けることが求められる。

個人的な意見だが、これは、観光地や外国人が多く訪れるところに偏るのではという懸念があり、外国人観光客の誘致が大きな視点になりうる。計画の目玉は修理等ではなく活用に重点を置いており、文化財を観光材料として取り組んでいく必要を感じている。その点、注視して行ってほしい。

委員： 計画については、改訂しながら進めているのが、柔軟な対応が取れていて良い。

文化財については過疎化によって消滅の危険性があると感じている。有形文化財のように形に残っているものはまだいいが、それ以外の無形のものについては対応にスピード感が必要かと思う。

自分は実行団体（保存団体）として参加しているが、地元の上打波は今ももう冬季は無人となっている。こちらの歴史等に詳しい先生がいてくれていて良かったが、その先生がいなければ、多くが失われていたと思う。

また、私はカモシカについて40年ほど携わっており、体験したことを、何かの形で残していきたいと考えている。

他にも、方言についても思うことがある。方言については岐阜や石川との関わりが多く、そちらから流入した方言が多くある。かつては、小学生の時に方言を共通語に修正させられた記憶がある。近年、金沢大学教授との関わりを持ち、方言（アクセント、イントネーション）について今関心を持ってやっている。

なくなっていくものを、最後に私が任された気がしながらやっている。

神子踊りも、なんとかして広め残して行ってはどうかと言われたこともあるが、文化財としてはそれまでの経過などが重要であり、昔のままの文化財を残していきたいという気持ちだった。しかしながら、コロナ禍において、人が集まらなくなり、そういった中で、歴史を理解してそれを身につけてもらうにはまだまだ時間はかかるが、「やってみよう」という人を受け入れ始めた。

先ほど委員の話の中にあっただが、文化財は「観光」にだけ偏ると、派手なものや形あるものばかりが残りやすい。堅持する所をしっかりと把握して保存していきたい。

●事務局から下記の点についてお願い。

現委員の皆様の任期については、令和8年5月31日までとなっている。今年度は、地域計画の改訂作業があったので、年3回の協議会を開催したが、来年度については、以前のように年1回の開催で、本計画の措置（事業）の進捗についてご確認いただく予定をしており、これについては新しい委員にお願いをすることになるかと思う。

年度が変わったら、それぞれの関係団体に委員推薦のご依頼をしたり、または、個人の方に直接お願いをさせていただくことになるかと思う。

現時点で当課では、これまでお願いをさせていただいている各団体などにお声かけさせていただきたいと考えているので、来年度以降も何卒よろしく願います。

## 5 閉会（会長）

しっかりと審議いただき感謝する。

来年度、新たなスタートになるが今後もよろしく願います。